

イベント情報&お知らせ

県央ブロックニュース

県央B7月末組合員数
水戸 : 934
ひたちなか : 512
笠間 : 101
那珂 : 99
東海 : 44
その他 : 70
合計 1,760名

生活クラブ茨城
県央ブロック
運営委員会発行
水戸センター
Tel291-8280
2020年8月24日
No.671

サステイナブルフェス 11月まで延長!

現在コロナ禍でおおぜいの人たちが一同に会するイベントの開催が難しい中、サステイナブルフェスで盛り上がりとうことで、たとえば……



生活クラブ茨城
ホームページ



アカウント :
@seikatsu_ibarak

生活クラブ YouTube チャンネルでは

Instagram に「#サステイナブルフェス」のタグをつけて投稿された『サステイナブルな暮らしのヒントを「やってみた」』動画などを配信中

7/4、8/1 に行われた『サルベージクッキング Live 配信』の見逃し配信を実施中

オンラインでのイベントも企画しています

生活クラブホームページや雑誌リンネルでおなじみ“シンプルライフ研究家 マキさん”のLive動画配信決定!

配信日: 2020年9月26日(土) 14:00~

シンプルライフ研究家マキさんの記事は「シンプルライフは生活クラブで」を検索してみてください!

YouTube アプリを開いて『生活クラブ生協連合会』を検索! 『チャンネル登録』もよろしくお願いします

ハッシュタグキャンペーン 県央ブロック応募者発表!

県央ブロックでは

Instagram @kamuy15ito
@momotaro0720

Twitter @sihotyann

はてなブログ ブログ名「#生活クラブ」 <http://goodcook.hateblo.jp/> の応募がありました。

※サステイナブルフェスは11月まで延長となりましたが、茨城単協企画「#ハッシュタグキャンペーン」は7/31にて一旦応募を締め切りました

運営委員会で投稿を確認し、応募してくださった方全員に消費材『手延べ葛そうめん』をお届けしました。皆さん写真も内容も素敵な投稿です! ぜひ検索! そして「いいね!」もよろしくお願いします。また、茨城県以外の皆さんもたくさん投稿しています。サステイナブルフェス特設ページから『生活クラブのある暮らし』のヒントを見つけてみてくださいね。

エコロや日頃困ったときの相談窓口

「たすけあいホットライン」

☎070-3937-5004 までどうぞ!

月曜日~金曜日 午前9時~午後5時

注) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、エコロケア依頼については一部対応が難しいこともあります。

GM ナタネウオッチ 検査報告

春、菜の花が咲いている頃、私たちの身近な所に GM ナタネが広がっていないか? を調査するため、組合員に呼びかけ7検体集まりました(常陸太田市、水戸市、友部など)。ようやく検査ができ、全て陰性(遺伝子組み換えではない)でした。ご協力ありがとうございました。今回の調査で県央ブロックエリアは安心と気を緩めることなく GM ナタネ調査を継続していきます。来年の春も採取への協力よろしくお願いします。

水戸センター草取り第2弾

先日組合員有志で水戸センター周りの草取りをして、とてもきれいになりました。次回は9月18日(金)9時~です。3密、熱中症に気を付けながら行います。お問い合わせは水戸センターまで

裏面に続きます

2020フードバンク夏休み子ども支援プロジェクト ボランティア活動報告

昨年12月に続き、フードバンク茨城主催の子ども支援プロジェクト(食に困っている子どものいる世帯へ、学校給食のない長期休暇期間中も元気に過ごせるように食のプレゼントをする活動)が実施されました。地域の生協などさまざまな団体が連携して活動を進めています。

今回は夏休みの短縮、自治体によって期間が異なるなど、支援プロジェクトの進め方が直前まで決定せず、組合員はフードバンクチームの4名、フードバンクの女性ボランティアスタッフが複数参加し、役割分担をしながら作業しました(7/27(月)午前)。事務所のある牛久と水戸(水戸市元吉田)で作業が実施され、水戸では45世帯分。1世帯ごとに食品10品目以上(約8.2kg)と精米3kgを箱詰めし、仕上げにフードバンクからのメッセージカードを入れて、後日支援団体を通して世帯へと届けられました。

チームではフードバンクの活動を広めるため、食品寄付の呼びかけをしてきましたが、6~7月中は地域にある「きずなBOX」への寄付を呼びかけ、消費材も含め多くの食材が集まりました。皆さんからの支援は確実に届いています。ご協力に大変感謝しています。命をつなぐための食の支援と皆さんの気持ちと一緒に届くことで、少しでも心豊かに過ごしてもらえたらと願っています。引き続きフードバンク活動へのご協力をお願いします。

(フードバンクチーム R.I.)



子育て中のお母さんへ

「生活と自治」7月号の紹介です

「こども哲学倶楽部」(P4)が7月号から始まり「どうして勉強しなきゃいけないの」が今月号の問いです。連載ですので今後も読んでみたらどうでしょうか。元中学校校長の西郷孝彦さんの「子どもたちに教えられた40年」(P15)も新連載です。西郷さんは、校則なし・定期テストなし・宿題なし等を実施して、それらを『校則なくした中学校 たったひとつの校長ルール』に纏めた方です。またこれも新連載の「誰でもクッキング」(P34)。お子さんに料理への興味を持ってもらうのにはいいかなと思います。それからお母さんの料理としては、料理研究家の枝元なほみさんの長期連載「エダモンとティータイム」(P2)、作り方の他に枝元さんの文を読むのもいいと思います。枝元さんをもっと知りたくなったら、「藤原辰史さんと枝元なほみさんの往復文書」(P5~)を読んでみてください。

地域くらぶ「生活と自治を読むくらぶ」 T.N. より

ガレージでたすけあいカフェやりました

(7/13、15、17の3回)

昨年秋に盛り上がった「自分にはもう必要ないけど、処分する前に誰か使ってもらえたら嬉しい♡の日用品持ち寄り会」を、新型コロナウィルス感染防止のため中々会えなかった班や地域くらすの仲間と梅雨空の下ガレージで開催しました。3日間で近所の組合員やゲスト、子どもを含め約20人が参加してくれ、3密を避けながらの自由参加で賑やかな会となりました。日用品を見ながら「未就学児から年頃の子どもの関わり方の話」や「アレルギーな



どでマスクが着けられない人もいるけど辛いよね!」、
「もうすぐ引っ越すけど誰かにエコロでお手伝いお願いしたい!」

など初対面同士でも気さくに話せる場になりました。残った衣類やバッグなど16kgはカンパ金でJFSAに送りました☆ また、フードバンク茨城への食品寄付協力の呼びかけには4.7kg集まり、水戸事務所に生活クラブとして届けました。今回残念ながら参加できなかったメンバーもいるので、涼しい時期にまた「たすけあいカフェ」を開催予定です。

「たすけあいカフェ」は3人からできますので、皆さんも企画してみてくださいネ! 詳細は「たすけあいホットライン」までお問い合わせください。

ひたちなか市 T.Y.